

平成26年

6月号

〔594号〕



広報

かねやま



今月の主な内容

守ろう私たちの只見線……………	2
話題の散歩道……………	6
お知らせ……………	10
図書室だより……………	15
おじゃまします……………	16



町公式キャラクター
かぼまる

もち米たくさんできますように

今、熱い思いを伝えるとき

守ろう 私たちの只見線

かつては物資の輸送に使用された只見線
そして私たちの足となり体の一部となった只見線
私たちがふるさとを思い浮かべるとき、その風景には只見線があります。
豪雨災害で破壊された幾つもの鉄橋、雑草が生い茂りさび付いたレール。
それは私たちの只見線の本来の姿ではありません。
私たちの只見線を取り戻すために、今、大切なことはなにか――

復旧進まぬ只見線

只見線は平成23年7月の新潟・福島豪雨災害で4つの橋梁桁が流出し、その他にも路盤流出や盛土崩壊、土砂流入など多大な被害を受け、会津坂下駅から小出駅間が不通となりました。

その後、平成23年8月には会津坂下駅から会津宮下駅間、大白川駅から小出駅間、同12月には会津宮下駅から会津川口駅間、そして、平成24年10月には只見駅から大白川駅間がそれぞれ運転を再開しています。

しかし、会津川口駅から只見駅間は代行バスによる運行となっており、鉄道の早期復旧について、福島県や会津の全市町村がJR東日本に申し入れをしているところですが、いまだ復旧の目途は立っていません。

そこで、鉄路復旧へ向けて私たち住民ができることはなにか、考えてみたいと思います。

忘れ去られる地域

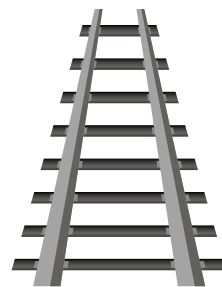
一度寸断された路線は、さらに鉄路区間や運行ダイヤの縮小を繰り返します。そして、沿線の町村全体に影響し、その路線は姿を消す傾向にあります。

さらに、鉄道が無くなるとその町がどうなるか。全国的な過去の事例を見ると、その地域は過疎や疲弊が急激に進むと言われています。金山町も例外ではありません。金山町も例外では無く今よりもっと加速度的に過疎が進むかもしれません。

学生や高齢者の方などの車を運転しない人たちにとっては、交通手段が減るわけです。鉄道ファンや観光客の集客にも大きく影響するでしょう。

地図上からも「只見線」という線が一本消えることになり、道路と町村名だけになってしまいます。それは町村のイメージダウンにもつながり、地域全体が忘れ去られてしまうかもしれません。

そのため、鉄路復旧は金山町にとって大事な命綱であると言えるでしょう。



多くの人が望む 只見線復旧

東日本旅客鉄道(株)はま

だ、鉄路復旧の見解を明確にしています。平成25年5月22日には今後の復旧を含む安全対策費用を約85億円、その工期を4年以上と発表しています。そのほか、災害前の会津川口駅から只見駅間の収支状況などを勘案し、早急な復旧を進めてはいないと思われま

す。しかし、復旧しないとの判断を下さないのは、沿線の市町村はもちろんのこと、福島県や新潟県、そのほか各団体などたくさんの方が只見線の鉄路復旧を強く望んでいるからです。

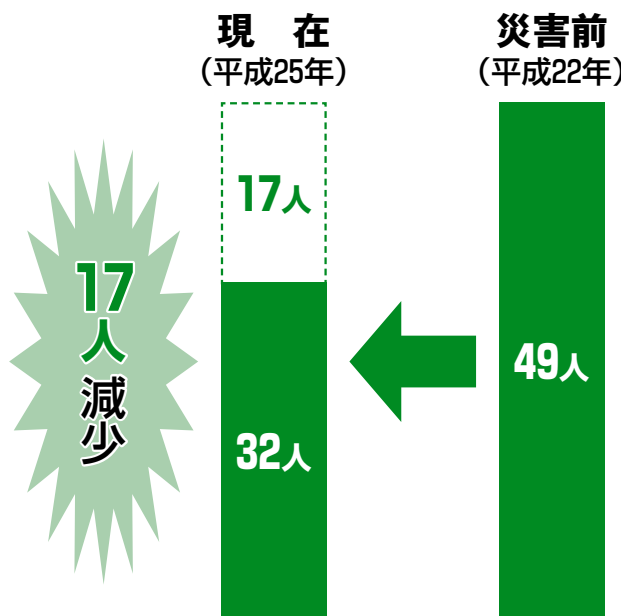
そのみんなの思いを行動に移し、代行バスの利用状況を災害前の状況に近づけることが鉄路復旧への第一歩になります。

代行バス区間の乗車人数

(一日当たり)



代行バスへ乗り込む利用者



問題は乗車人数

JR東日本が特に注目し、問題としているのは代行バス区間の乗車人数です。

平成22年度(豪雨災害前)の1日あたりの代行バス区間の乗車人数は49人でした。そして、平成25年度の平均乗車人数は32人のため、以前に比べ一日平均17人が足りないことになりました。まず、この人数を満たすことが鉄路復旧への絶対条件となります。

JR東日本が鉄路復旧の方針を打ち出すのは今年9月です。つまり、9月までの約4カ月間のうちに、乗車人数の条件をクリアしなければ鉄路復旧の道は閉ざされてしまいます。

だから、今こそ、町民一人一人がこの代行バス利用や只見線について、もう一度考えて下さい。

一人の行動が只見線の復旧につながって行くでしょう。





金山町民限定特別企画

9月まで!

代行バス 5000人乗車キャンペーン

町では、9月末までの間に、川口駅から只見駅間の代行バスに町民のみなさんのべ5000人に乗っていただく運動を実施します。

期間中は、代行バスを利用された町民の方を対象に、抽選応募用紙と粗品を贈呈します。(粗品贈呈は1回のみ。)

応募された用紙は定期的に抽選を行い、当選者を決定し粗品を贈呈させていただきます。乗った分だけ当選する確率が上がる仕組みです。

まずは代行バスに乗りましょう!!

区間等は問いません。
1回乗ったら一枚の抽選応募用紙を贈呈します。



乗ったことの申告は後日でもかまいません。

役場復興政策課または観光情報センターに『代行バスに乗りました!!』と伝えてください。

“抽選応募用紙”と“粗品”を贈呈します。

抽選応募用紙は乗った回数だけ贈呈します。
粗品はかぼまるファイル等を予定しています。



抽選応募用紙に必要事項を記入して備えつけの箱に投函してください。



応募用紙を入れる箱は、役場復興政策課または観光情報センターに設置してあります。また、郵送でも応募可能ですが、切手(52円)は自己負担となります。

月1回抽選を行います。

商品は、妖精の里商品券を予定しています。
なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※抽選応募用紙には、個人情報をご記入いただきますが、取り扱いには十分注意し本事業以外には使用いたしません。

お問い合わせ 只見線のりのり倶楽部 ☎54-5203 (役場復興政策課内)

JR只見線ツアー支援事業

町民の方で構成する5名以上の団体が、只見線を活用したツアー企画を実施するときに、汽車賃の支援を行います。家族のみの構成は支援できませんが、9月までの期間限定で汽車賃以外の経費についても一部支援いたします。

JR東日本が企画する「金山町民号」についても旅行代金の一部を助成します。今年は、7月5日(土)に長野県小布施方面を予定していますので、みなさん是非ご参加ください。

只見線応援団の募集

福島県では只見線応援団を募集しています。

この団体は、只見線を愛し復旧復興を目指す個人や法人等の団体で構成されるもので、既設の「只見線復旧復興基金」に2,000円以上(法人は10,000円以上)の寄付をすることで個人会員になることができます。また、寄付行為が伴わなくても賛同会員になることも可能です。

また、この寄付行為は税制の優遇措置の対象となります。

入会特典は、会員証・メールマガジン・只見町・金山町内商店の割引制度・応援グッズが予定されています。

役場内での取組

役場職員も一丸となって、只見線の復旧を目指して取り組んでいます。職員もそれぞれに乗車目標を定めて、通勤方法や会議等の開催場所や時間等を工夫をして只見線代行バスの利活用の促進に取り組んでいます。また、休日等のプライベートでも家族と一緒に利用するなど可能な限り使っていきます。また、各課ごとに週1回の「ノーマイカーデー」を定め、只見線だけでなく、公共の交通機関全般を見直し活用していく取り組みを行っています。

只見線復旧復興募金活動

観光情報センター(会津川口駅内)や道の駅、役場や診療所等に只見線復旧応援のための募金箱が設置してあります。町民のみなさんや観光客のみなさまからの浄財を定期的に福島県の只見線復旧復興基金に届けます。町内の各施設に設置してある募金箱とイベントの際の募金を併せて、現在までに35,656円を只見線復旧復興基金に届けました。引き続き募金活動を継続してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

金山町内小・中学校や 保育所での取組

町内の小学校では地元講師による只見線のミニ講演会を行っています。これは、只見線を通して金山町の素晴らしさを感じ、町に誇りを持ってもらうのが目的です。そのほか体験学習の際に移動手段として只見線を利用する計画です。その乗車体験をもとに、只見線に関する絵を描き、只見線の車内や各駅などに掲示して只見線をPRしていきます。また、PTAの研修旅行でも代行バス区間を利用する予定です。

中学校では、町外での練習試合に利用しており、今後は遠足などでも利用する計画です。

保育所では遠足の際に利用しており親子で楽しい時間を過ごしました。

他市町村等での取組

只見町では東京で行う俳優による只見線トークショーや、只見線車両ラッピング、只見線PRグッズの作成や只見線を利用した婚活イベントなどを予定しています。

只見線活性化対策協議会では只見線の早期全線復旧を応援するため、只見線をより身近に感じ、多くの方々に親しまれ乗ってもらえるようにマスコットキャラクターを募集しています。

奥会津五町村活性化協議会では様々なツアーを企画し、利用促進を行っています。そのほか、新潟県や只見線沿線の各市町村でも公式ホームページで只見線復旧復興募金のお知らせや、只見線に関する情報を住民の方にお知らせしています。

只見線復旧に関する問い合わせ

復興政策課

☎54-5203

生の三味線の音色 こぶし学級開講式



こぶし学級参加者

横田公民館事業のこぶし学級開講式が5月9日に開催され、午前は教育長の挨拶や横田駐在所の坂本巡査長による交通事故防止となりすまし詐欺にあわないための講話がありました。午後は岩渕憲二さん(山入二)と岩渕さんの師匠である藤本三弦会代表の藤本隆さん(柳津町)のお二人による三味線が披露されました。津軽三味線メドレーから始まり、津軽じょんがら節など9曲が演奏され、最後は参加者で齊太郎節など4曲を謡いました。参加者からは「楽しかった」との声が多く聞かれ大好評でした。



岩渕憲二さん(左)と藤本隆さん(右)

ヒメマスさん行ってらっしゃい 小学生がヒメマスの稚魚を放流

5月9日沼沢湖で町内の2校の小学生がヒメマスの稚魚を放流しました。

沼沢漁業協同組合の鈴木茂組合長(板下)からヒメマスについての説明を聞いた後、1月にふ化し、3～5cmに成長した約1万匹の稚魚を放流しました。



子どもたちは、漁協の組合員からバケツにヒメマスの稚魚を受け取ると、「ヒメマスさん行ってらっしゃい」と声をかけながら、次々に放流していました。

劇団すぎのこ 人形劇



人形劇に見入る子どもたち

5月14日に川口保育所で園児や小さいお子さんたちが「劇団すぎのこ」による人形劇を鑑賞しました。「わらしべ長者」が上演され、園児達は登場人物が寝る場面では「おやすみなさい」と声をかけたり、歌を唄う場面では手拍子を打つなど、人形劇の世界に入り込んでいました。



人形劇の一場面



素足で田植え体験

米作りから始まる てまえ酒つくり体験ツアー

5月24日から25日の2日間にわたり友好都市の羽生市と鴻巣市の方を対象とした「てまえ酒つくり体験ツアー」が行われました。

今回は、横田太郎さん（横田）から酒米の「フクノハナ」についての話を聞いてから、田植え体験を行いました。7名の参加者は素足で田に入り、初めての泥の感触を楽しんでいました。2日目は新緑のブナが立ち並ぶ癒しの森の散策などを行いました。

曇り空を吹っ飛ばせ 金山小学校運動会

5月17日に予定されていた金山小学校運動会は雨で順延となり18日に行われました。

当日も朝のうちは少し肌寒い曇り空でしたが、競技が進むにつれ、子どもたちの元気な姿に曇り空も吹き飛びました。

競技は個人種目や親子競技、地域の方も参加し盛大に行われました。



3世代玉入れ競技

町内小学校で田植え体験

横田小学校では、20日に滝沢三郎さん（横田）の田んぼで、栗城元一さん（上横田）を講師に田植えを行いました。1年生は先生と一緒にいましたが、2～6年生は慣れた手つきでどんどんもち米の苗を植えていました。



横田小学校



金山小学校

金山小学校では、23日に大友千恵子さん（板下）の田んぼで田植えが行われました。子どもたちは、鈴木茂さん（中川）の話を聞いてから、もち米の苗をもらい田んぼに入りました。1歩ずつゆっくりと足を進めながら熱心に田植えを行っていました。



苗のベッドを作ります

苗さんのベッド作り 保育所でサツマイモ苗植え

5月23日、若林豊次さん（川口）の畑で保育所園児によるサツマイモの苗植えを行いました。子どもたちは若林照枝さん（川口）から苗の植え方を教えてもらい、1本ずつ丁寧に植えていきました。苗を寝せることから「苗さんをベッドに寝かせましょうね」「土のおふとんかけてね」と声をかけながら行っていました。

晴天のもと 御神楽岳山開き

6月1日御神楽岳の山開きが行われました。当日は、さわやかな青空に恵まれ、町内外から約200名が参加しました。

役場駐車場に集合した参加者は、数台のバスに分乗し御神楽岳に向かいました。最初に登山の安全祈願を行ってから、御神酒や塩などを口にしながら、思い思いのスピードで歩き出していました。

下山後には、金山町の特産品が当たる抽選や飲み物が用意され、参加者は当たりはずれに一喜一憂していました。



登山者の様子

かねやまの魅力を全国へ プレデスティネーションキャンペーン

デスティネーションキャンペーンとは県や市町村、JR等が協力し、全国の旅行会社等の協力を得ながら、3ヶ月間、重点的かつ集中的に全国で宣伝販売が展開される国内最大級の観光キャンペーンです。

今回は、平成27年4月から行われる本番にむけ、5月22日から23日にかけて、奥会津のツアー企画として大勢の参加者が金山町を訪れました。



炭酸水の試飲



金山町の魅力を伝える長谷川町長

各旅行会社からの参加者は道の駅奥会津かねやまのアザキ大根高遠ソバや赤カボチャソフトを試食しました。

その後は、大塩炭酸場で炭酸水の井戸の視察や試飲を行い、地元住民からは手作りの料理が出され、観光地としてのPRを行っていました。



講師の手際の良さに感心する生徒



そば打ち講習会

地元の魅力再発見 川口高校生が体験活動

5月26日生活体験で川口高校生がそば打ち体験を行いました。栗城レイコさん(玉梨)と角田ノブ子さん(玉梨)を講師に迎え、慣れない手つきでしたが、みんなで協力して最後にはおいしいそばをほおばっていました。

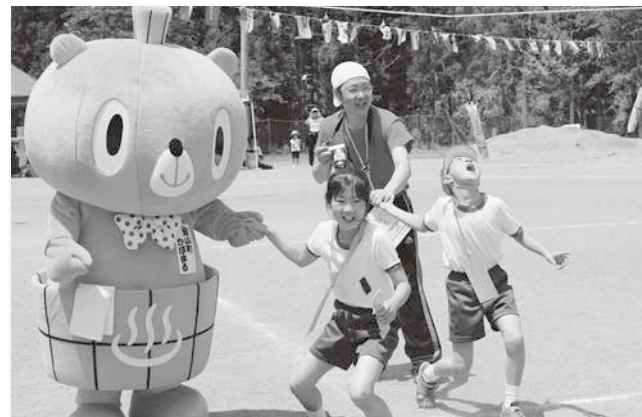
5月15日には福島県立博物館の学芸員の佐々木長生さんを講師に「地域の宝物紹介～奥会津金山の自然とくらし～」と題し、奥会津の暮らしや風土などについて講演を聴きました。会場には、たくさんの民具が並べられ、佐々木さんから使い方やその当時の住民の暮らしなどについて説明を聞き、実際に手に取ったり、身につけてみたりして当時の様子を思い浮かべていました。



奥会津風土体感プログラム



開会式



かぼまるも参加

初夏の太陽の下 横田小学校・横田地域合同運動会

5月31日に横田小学校校庭において横田小学校・横田地域合同運動会が行われました。

始めに、入場行進が行われ、児童の後に各地区の選手達が続きました。

競技に入ると紅白対抗や地区対抗に個人戦などがあり、内容も地元の特産品にちなんだものや縄よりといった多彩なものでした。

小さな子どもから、お年寄りまで参加し地域の絆をより一層深めていたようでした。



親はかぼまる 子は羽をつけた妖精です

お知らせ

今月の納税

●町 県 民 税 1期・全期

納期限は
6月30日
です

納め忘れに
ご注意ください

案内

労働保険の 年度更新等のお知らせ

平成26年度の労働保険の
年度更新の申告期限は7月
10日です。

期限までに、最寄りの銀
行、郵便局、労働基準監督
署、福島労働局において手
続きされますようお願いし
ます。

労働保険の年度更新は電
子申請を、労働保険料等の
納付は講座振替をご利用下
さい

◎問い合わせ：福島労働局
024-53614607

経営所得 安定対策の申請

食料自給率向上・農業経
営安定を目的とした経営所
得安定対策が本年度も引き
続き実施されます。

水田に1反1畝以上の水
稲の作付けのある方で、米

の販売をされている方・水
稲共済に加入されている方
が対象になります。また、
畑作物や転作物等で販売
実績のある農家の方も作物
や面積次第で対象となる場
合がありますので、ご不明
な点があればお問い合わせ
ください。

なお、該当者の方には、
後日、連絡いたします。

◎問い合わせ：農林振興係
54-5321

J A会津みどり金山総合
支店 54-2011

町県民税均等割の引上

平成26年度から10年間、
町県民税均等割額が千円引
き上げられ、現行の五千元
から六千円になります。

引き上げられた千円（町
民税五百円、県民税五百円）
は「防災費用」に充てられ
ます。皆さまのご理解とご
協力をお願いします。

◎問い合わせ：住民税務係
54-5121

ドライバー総参加の セーフティーチャレンジ

自動車（原付自転車を含
む）を運転する方3人1組
でチームを作り7月1日か
ら12月31日までの6ヵ月間、
無事故・無違反に挑戦して
みませんか。無事故・無違
反を達成したチームには、
福島県交通対策協議会から
記念品が贈られます。さら
に抽選により旅行券や商品
券が当たります。

今年から65歳以上の方が
2名以上のチームはシルバ
ー枠とし一般抽選とは別に
抽選がありますので、当選
の確率がアップします。

また、町の交通対策協議
会でも独自に抽選会を行い
当選チームには賞品を贈り
ます。町を経由しないと町
の抽選に漏れる場合がありますので、必ず役場総務係
か横田出張所へ申し込んで
ください。

▼申込期限

6月27日（金）まで

▼申込方法

役場総務係及び横田出張
所にある専用の申込書に必
要事項を記入し、参加料
（1チーム千五百円）を添
えて申し込んでください。

◎問い合わせ：総務係

54-5222



これからの予定

★6月★

▼13日（金）

・総合検診

午前8時～

大塩体育館

▼14日（土）

・県民スポーツ町予選
（バレー）

午後7時～

町民体育館

▼16日（月）

・総合検診

午前8時～

町民体育館

▼17日（火）

・総合検診

午前8時～

町民体育館

▼18日（水）

・総合検診

午前8時～

町民体育館

・免許更新

午前9時～ 御神楽館

▼19日（木）

・総合検診

午前8時～

町民体育館

★7月★

▼4日（金）

・ハイハイクラブ

午前10時～

横田公民館

▼8日（火）

・4ヵ月健診

午前11時15分～

坂下厚生病院

有害鳥獣防護柵の 設置には補助がです

町は有害鳥獣による農作物の被害を防止、軽減するために防護柵を設置する世帯に対して助成します。

▼助成額

設置費用の2分の1（限度額1台あたり二万五千元）

▼交付申請

1世帯2台まで

※既に電気柵を設置し、助成金を受けている世帯でも新たに今年度設置される場合は申請することができます。また、補助金を受けて設置した電気柵を火災や自然災害等により喪失された方も再度申請することができます。

◎問い合わせ：農林振興係

☎ 54-5321

子どもの人権110番 強化週間の実施

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、6月23日から6月29日までの7日間、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰など子どもの抱える人権問題について、電

話相談を実施します。相談は、人権擁護委員及び法務局職員が応じます。秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

なお、強化週間の期間以外の日（土・日・祝日を除く。）においても午前8時30分から午後5時15分まで、相談に応じていますのでご利用下さい。

▼期間

6月23日（月）から
6月29日（日）までの7日間

▼時間

午前8時30分から
午後7時まで

ただし、6月28日（土）・29日（日）は午前10時から午後5時まで
☎ 0120-0007-1110
（フリーダイヤル）

不動産取得税の軽減

不動産取得税は、土地や家屋を取得したときに一度だけ納めていただく県の税金です。

住宅用の土地を取得してから3年以内に住宅を新築（中古住宅の場合は、1年以内を取得）した場合や、住宅を取得してから1年以内にその住宅用の土地を取

得した場合で一定の要件を満たすときは、これらの土地にかかる不動産取得税を減額する制度があります。また、災害や公共収用時などにも減免制度があります。※これらの制度は、ご本人の申請により減額・減免するものなので、該当すると思われる方は、詳しい要件及び必要書類について、次のところにお問い合わせ下さい。

◎問い合わせ：福島県会津
地方振興局県税部
☎ 0242-2915254

ご寄付に感謝

一般寄付金

● 神奈川県藤沢市の
（株）サンフォーレより10万円
ご寄付に感謝申し上げます。

ふるさと応援寄付金

● 千葉県作倉市の
金澤豊さんより 三万円
● 匿名希望の方2名から
一万五千元
ご寄付は自然環境の保全
事業などに活用させていただきます。

広報送付に対して

● 東京都千代田区の
目黒ハナ子さんより一万円
● 東京金山会より10万円
ご寄付は広報紙面の充実に活用させていただきます。



福祉センター「ゆうゆう館」 改修工事について

中川の福祉センターでは、温泉等改修工事が始まります。

工事期間中は温泉の利用ができなくなります。また、集会などでの施設利用が一部できなくなりますので、利用する場合は福祉センターへご確認ください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、すでに利用申込みをされた方には、順次ご連絡をいたしますのでご了承ください。

工事期間：6月～9月（予定）

◎問い合わせ…福祉センター ☎ 55-3336

金山町農業委員会 一般選挙

告示日 **7月1日（火）**

投票日 **7月6日（日）**

町内各地区の放射線量

町が独自に行っている、各地区の空間放射線量についてお知らせします。

※測定結果は気象条件等により変動しますので、数値は目安としてご覧ください。

測定地点：各地区集会所

(単位：マイクロシーベルト／時間 地上1mの高さで測定)

地区名	測定日	3月28日	4月28日	5月23日	地区名	測定日	3月28日	4月28日	5月23日	地区名	測定日	3月28日	4月28日	5月23日
川口		0.064	0.070	0.064	上田		0.050	0.062	0.066	横田		0.092	0.088	0.080
小栗山		0.070	0.074	0.072	水沼		0.094	0.086	0.080	上横田		0.074	0.072	0.086
八町		0.074	0.070	0.088	上大牧		0.068	0.088	0.082	土倉		0.054	0.058	0.058
玉梨		0.052	0.074	0.072	下大牧		0.064	0.072	0.076	西部		0.076	0.074	0.070
西谷		0.072	0.076	0.076	高倉		0.046	0.076	0.074	大塩		0.052	0.078	0.088
本名		0.070	0.072	0.080	大栗山		0.046	0.062	0.064	滝沢		0.068	0.074	0.073
橋立		0.060	0.072	0.066	福沢		0.052	0.074	0.070	田沢		0.058	0.076	0.066
大志		0.080	0.078	0.070	三更		0.064	0.090	0.090	山入1		0.080	0.074	0.076
板下		0.050	0.064	0.066	沼沢		0.124	0.120	0.116	山入2		0.066	0.074	0.080
宮崎		0.064	0.066	0.062	太郎布		0.060	0.056	0.080	越川		0.064	0.076	0.080

自家消費食品等の 放射性物質簡易測定の結果について

複数の検体を測定している場合は最低値と最高値を表示しています。

(測定年月日 平成26年5月1日～平成26年5月31日)

※「ND」は、10ベクレル/kg未満です。(単位：ベクレル/kg)

品名	測定件数	未検出数	セシウム (134+137合計値)
地下水	3	3	ND
ごみ	2	1	33.7
原木	1	1	ND
焼却灰	1	0	1,881
タケノコ	1	1	ND

町では自家消費の食品等について放射線測定を役場と横田出張所で行っています。

測定を希望される方は、保健福祉係か、横田出張所へ事前予約が必要です。

測定には1検体につき40分以上かかります。

なお、販売用食品の測定については農林振興係にお問い合わせください。

◎問い合わせ…保健福祉係 ☎54-5135

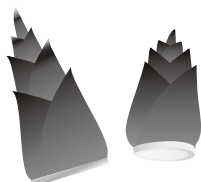
(自家消費食品について)

横田出張所 ☎56-4111

(自家消費食品について)

農林振興係 ☎54-5321

(販売用食品について)



水道水の放射性物質 検査結果

町では定期的に町水道の放射性物質モニタリング検査をしています。

5月28日現在で町内水道水から放射性セシウムは検出されていません。

【参考】

国が定めた飲料水の基準値
放射性セシウム

10ベクレル/kg

◎問い合わせ…上下水道係

☎54-5315

▲ 熊に注意 ▲

最近、近隣町村で熊の目撃情報が多発しています。人的被害もあり非常に危険です。

山に入る際や早朝の農作業を行う時は、鈴などの音のするものを持つなど十分に注意して下さい。



免許更新会場の変更について

開発センターの大規模改修に伴い

6月からの免許更新は 御神楽館（本名）で行います。

ご協力をお願いします。

◎問い合わせ…総務係 ☎54-5222

6月はシートベルト 着用強化月間です

シートベルトとチャイルドシート着用効果、必要性を認識し、車に乗ったら必ず、全ての座席でシートベルト、チャイルドシートを正しく着用しましょう。

主唱：福島県・福島県交通対策協議会

医療費詐欺に御注意

あなたが狙われています。 医療費詐欺に御注意ください。

最近、福島県内で、医療費の還付を口実として

- ・預金番号を聞き出そうとする。
- ・預金残高を聞き出そうとする。
- ・ATMの操作を指示する。

などの怪しい電話が相次いでいます。

不審な電話があった場合は、言われるがままに従ったり、自分だけで判断したりしてはいけません。いったん電話を切り、警察に相談しましょう。

金山町では、医療費の手続きでATMでの操作をお願いすることはありません。

◎問い合わせ…保健福祉係
☎54-5135



昨年のコンサートの様子

農作業中の事故に注意しましょう

農作業の季節になりました。作業中は次の点に注意しましょう。

- ・農業機械の点検や整備はエンジンを停止した状態で行いましょう。
- ・作業機やトレーラーに人を乗せて運んではいけません。
- ・作業に適した服装で安全作業に努めましょう。
- ・適度な休憩を取り、無理のない作業をしましょう。

◎問い合わせ…農林振興係 ☎54-5321

チャイルドシート・ ジュニアシートの貸し出し

町ではチャイルドシート・ジュニアシートの貸し出しを行っています。帰省するお孫さんにも貸し出しができますので、ご利用下さい。

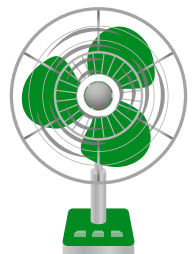
◎問い合わせ…保健福祉係
☎54-5135

節電にご協力をお願いします

今年も夏の電力需要の増加に伴う電力不足の影響が心配されています。

役場でも職員の軽装・弱冷房・一部消灯を実施しています。

皆さまも節電にご協力をお願いします。



復興祈念コンサート 明治大学マンドリン倶楽部OB

賛助主演：只見音楽研究会
県立川口高校音楽班

▶日時 6月29日（日）開場：正午
開演：午後1時

▶場所 御神楽館（本名）

当日は滝沢方面、玉梨方面、沼沢方面よりそれぞれ送迎バスを配車いたしますので、みなさん、ぜひ、ご来場ください。

詳しい配車時間等については以前に配布したチラシか後日の新聞折り込みをご覧ください。

◎問い合わせ…NPO法人あそびのがっこう
☎54-2003



みんなでJR只見線の早期復旧を応援しよう!!

奥会津五町村活性化協議会 JR只見線復興応援プロジェクト事業

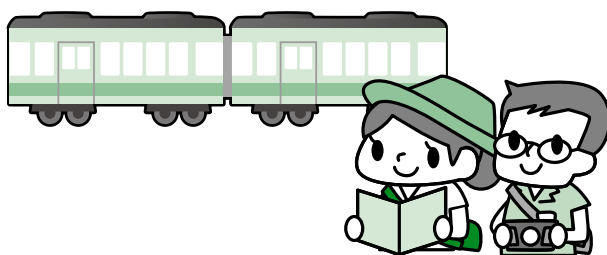
「只見線の旅」リニューアル

昨年度発行しました「只見線の旅」を2014年版にリニューアルして、発行しています。

各駅ごとの見どころを紹介していますので、ぜひお手に取りご覧下さい。

なお、「只見線の旅」は奥会津の道の駅や、観光情報施設等に置いてあります。

◎問い合わせ…奥会津振興センター
☎48-5525



平成26年度奥会津五町村六次化推進事業 奥会津五町村六次化推進事業助成金募集について



昨年の助成金で作られた「えごまコンニャク」

奥会津五町村活性化協議会では、六次化を推進する事業者を募集しています。

この事業は、奥会津五町村に本拠をおく事業者が、奥会津の農林水産資源を活用した商品の開発や、既存商品の改良、販路開拓・拡大などを行う場合に、その経費の一部を助成するものです。

- 助成限度額 100万円
- 募集期限 7月4日(金)

詳しい内容が知りたい方は下記にお問い合わせください。

◎問い合わせ…奥会津振興センター
☎48-5525

☆新書紹介

一般書 「プロメテウスの罠1」／朝日新聞特別報道部 著（学研パブリッシング）

朝日新聞のルポルタージュ連載記事の書籍化。福島原発事故による放射能汚染は、なぜこれほど多くの被害者を生んだのか。政府、官僚、東京電力、そして住民。それぞれに迫った、気鋭の取材記者たちの真実のレポート。

一般書 「人生はニャンとかなる！」／水野 敬也 著（文響社）

68枚のカワイイ猫の写真とその写真にマッチしたキャッチコピー、さらに272個の偉人の逸話・格言で、人生で大切な教えが学べる新しいタイプの本。

児童書 「工作図鑑」／木内 勝 著（福音館書店）

手、はさみ、小刀、千枚通し、かなづち、のこぎり、きり、ペンチなど、さまざまな道具の使い方を覚えながら、伝承おもちゃから創作のものまで170種のおもちゃが、楽しく作れます。

☆図書館にある本のご紹介

がんばり屋さんのための、心の整理術／井上 裕之 著（サンクチュアリ出版）

旬がおいしい野菜辞典／ 田中 由美 著（学研）

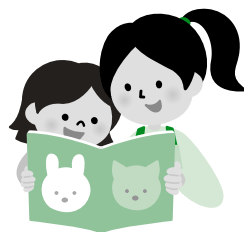
ひき肉の本／（NHK出版）

☆5月の公民館図書室利用状況

貸出冊数 80冊（うち児童書 44冊）

*お一人様3冊まで2週間借りられます。（土曜日利用可）

◎問い合わせ…中央公民館 ☎54-5333



あの人この人

5月届出（敬称略）

こんにちは赤ちゃん

丹治明弥音（父・丹治 克弥）（川口）
（母・ 真由美）

若林 真帆（父・若林 慎也）（本名）
（母・ 美映子）

お二人で幸せに

★ 星 仁 志（大 塩）
★ 鹿 目 知 賀子（会津若松市）

霊よ安らかに

菅 家 ハルイ（91歳）川 口

菅 家 ミサヲ（86歳）板 下

渡 部 覺（96歳）田 沢

星 晴 大（77歳）上大牧

長谷川 卓 男（77歳）本 名

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口（6月1日現在）

世帯数 1,117世帯（+ 6）

人 口 2,330人（- 2）

男 1,107人（- 2）

女 1,223人（± 0）

※（ ）内は先月比 住民基本台帳から

風しん予防接種を助成します

町では生まれてくる赤ちゃんの先天性風しん症候群を予防するため、風しんの抗体価検査、風しんの予防接種の助成を行っています。

抗体価検査を希望する場合は、役場保健福祉係で申請してください。

- ▶実施期間 平成26年4月1日～
平成27年3月31日
- ▶対象者 金山町に住所があり、次のいずれかに該当する方
 - ①19歳から49歳の妊娠を予定または希望している女性とその配偶者
 - ②妊娠している女性の配偶者（婚姻関係は問いません）
- ▶実施場所 金山町国保診療所
- ▶受け方 風しん抗体価検査を実施し、抗体価が十分でない方に風しん予防接種を実施します。

▶申請に必要なもの

抗体価検査結果表

予防接種済証の写し領収書の写し

保険証または免許証（本人確認できるもの）

請求者の通帳と印鑑

◎問い合わせ…保健福祉係 ☎54-5135

おじゃまします

金山町 観光物産協会

職員の菊地多香子さん

奥会津金山を全国へ

「最近、「奥会津金山」は

町では、産業や観光資源の充実を目的に金山町商工会内にあった金山町観光物産協会を役場内に場所を移しました。
さらに新たに専任の職員1名のほか、臨時職員も配置し、観光物産販売の拡大や6次化事業の推進を図っています。
そこで今回は金山町観光物産協会に話を聞きました。

観光物産協会の 業務内容は

「観光物産協会は6次化商品の開発サポートや、販路の拡大、開拓、ツアーなどの観光誘致を行っています。ほかに、町内の観光スポットの発掘や町内で行うイベントの運営や企画を行っています。」

ときには、地元の生産者の方や、商工会、役場の方達と、友好都市や大都市圏での物産販売や他町村が集まるイベントなどにも参加しています」
と職員の菊地さんは話します。

金山町が好き

徐々にですが全国的に注目されてきています。
先日の福島県等が行った旅行会社の視察ツアーでも、九州の方に「金山を応援している」とおっしゃっているのを見て、これをきっかけに観光客の増加につなげたいと思っています。
今後、町民のみなさんにもお願いすることがあると思いますので、その際はご協力をお願いします」と菊地さんは話します。

「私が旅行会社で働いていたとき、宿泊施設のセール担当として、何度も金山町を訪れました。そのたびに金山町の風景や住民の方の優しさにふれ、どんどん金山町が好きになりました。そんなとき、金山町観光物産協会の職員募集を知り応募しました。
出身地の県中地方では見られない景色が金山にはたくさんあり、色々な風景を毎日楽しんでいきます。そのすばらしい風景をたくさんの方に知ってもらいたいと思います」
と菊地さん自身の抱負も話していました。

町民憲章

一 自然を愛し、美しい町をつくりましょう
一 健康で、生きがいのある町をつくりましょう
一 教養を高め、文化の町をつくりましょう
一 親切をつくし、豊かな町をつくりましょう
一 決まりを守り、明るい町をつくりましょう

広報文芸

金山俳句会 五月句会

校庭を

行ったり来たり花吹雪

五十嵐 ミイ子(川口)

百姓の

骨休めとす花の雨

目黒孝子(上横田)

病む夫を

外に誘い出す桜かな

栗城 トサ子(川口)

撫芽吹く

妹は村去る手続きに

五ノ井 フミ(川口)